



# 黒岩潤也とは

昭和50年生まれ、もうじき50歳

子供4人 中学生(1年)小学校(4年)小学校(3年)保育園(年中) PTAの加入は、長男の小学校入学からで、今年で7年目

#### PTA役員等

令和元年度 単 P 広報部 令和 4 年度 単 P 副会長 令和 5 年度 単 P 会 長

 令和6年度
 単P
 顧問
 上水内郡PTA連合会
 会長

 令和7年度
 上水内郡PTA連合会
 顧問

令和5年度~令和6年度

飯綱町 コミュニティースクール 学校運営協議会 委員



## 学習環境の支援

▶ 運動会の設営協力 備品運搬、会場設営の協力

> 学習環境の整備

年間2回の学校用地の整備



資源回収(紙・アルミ缶など)

活用内容

### 学習活動の支援(新規)

▶ 児童の野外活動への参加

(1年生の課外活動への同伴)

課外活動において、普段の活動範囲から離れるため、特に低学年の 安全確保が重要と考えられるなか、令和5年度において1年生の遠足に 会員が同行して、児童の学習支援・安全確保を実施した。

養護教諭が不在の中、応急手当ができる会員も参加し、擦り傷などの

緊急性低い怪我などを処置し、

参加した児童が最後まで有意義な 活動になるように協力を実施した。



# 学習活動の支援(新規)

▶ 児童の野外活動への参加

(1年生の課外活動への同伴)

1年生の課外活動で、安全性が求められるスキー教室に、

PTA会員が同伴し、経験が少ない児童に対し、スキーの脱着などの支援を行った。 スキー靴で、普段と違う動きに対し、見守りなど多くの大人が係わる事で、



初めてで不安な子供たちも 安心で、精神的な支援にもつながり、 参加した会員も、普段と違う子供たち の笑顔を見て喜んでいました。

# 地域からの働きかけ

▶ 子供たちへの支援を地域が考える実例の紹介

(右) 学校隣接道路に、地域貢献で 建設業者が、通学路路面標示の設置 (左) 大型車両の通行が多い路線に、 横断する児童への配慮を意識させるために保護者から

地域役員が行政に働きかけ、路面標示の設置

# 地域からの働きかけ

▶ 地域の子供たちは地域で守る 実例の紹介

(左)空き地となった石積が年月が経ち、 崩落し通学路の危険性を感じていた。

PTA校外指導部から地域の役員に相談。

地域役員が行政に働きかけ、県外の管理者を特定し、地域の建設業者が支援して、 崩落前に、石積みを撤去へ。



## 地域からの働きかけ

▶ 子供たちへの支援を地域が考える実例の紹介 (新しい通学路の安全を)



横断歩道などの整備が難しいとなった 通学路で、通行者への意識付けを図るため 横断グリーンベルトを提案。



### PTAだからできた要望

令和5年12月、飯綱町立の小中学校3校で飯綱町・飯綱町教育委員会へ要望を実施

- スクールバスの拡充(対象学年を高学年まで対象に) 特に、夏の下校時が高温でゲリラ豪雨の発生が頻繁になっているため、 児童の危険が高くなり、スクールバスの拡充要望
- 給食費の保護者負担軽減 <mark>令和7年度支援継続(令和6年度 継続要望)</mark> 給食材料費の価格高騰により、給食費の値上げが予定されていたため 子育て世代の負担軽減のため、給食費の支援を要望

令和5年度 令和6年度

低学年 265円/食 → 286円/食(内半額の公費補助 実質負担143円/食) 高学年 285円/食 → 308円/食(内半額の公費補助 実質負担154円/食)

#### 飯綱町における コミュニティースクール学校運営協議会は

各学校において、地域・保護者・学校・教育委員会が連携し、 学校の運営方針の確認、児童生徒への支援を行っている。 飯綱町3校(小学校2校・中学校1校)において、情報共有を 兼ねた事項の協議を行っており、児童・生徒が健やかに学校活動が できるよう、教育委員会と共同で行っている。 各校 年間3回程度の協議の場を設け、それぞれの関わりの中での 児童生徒の現状などの意見交換をし、児童生徒への支援などを進めています。

#### 参考)

地域の食育を進めている団体・地域の企業・社会教育委員・児童クラブ指導員 (保育園・小学校・中学校)連携、と保護者が主な委員となっている。

令和5年度の会長の時に、会員の皆さんに お願いしたことがあります。

先生が子供たちに寄り添って行けるよう、 保護者の協力が必要です。

子供たちのより良い環境になるよう、 協力をお願いしました。

ご清聴ありがとうございました。